

看護はよろこび

緩和ケアの現場から

著者：水野敏子 挿画：犬丸宣子

半世紀を看護師として働き、緩和ケアの現場にも長年立ち続けている著者の一作。看護経験の振り返り、数多くの実体験、患者の心身をケアする様々な技術など、看護師・医療従事者、志望者は必読の内容が満載です。

水野敏子さんは私にはマザー・テレサに重なって見える。
あふれるばかりの愛と技術と言葉を、力強い実行力で多くの方に提供されてきた。
昔ながらの「看護婦」のあり様が、今の看護師の目にはどう映るだろうか。この本に「マザー」を感じていただけることを願う。 (みずほ在宅支援クリニック 家田秀明「序文」より)



◆目次

I 生い立ち

II 看護婦を目指して

III 看護師になって

先に逝ったひとの言葉 1. 「その枯れた花、捨てないで下さい」(六十代男性) / 2. 「俺、痛みが我慢できなくなったら、どうなる?」(六十代男性) / 3. 「で、わたし、どうしたらいいの?」(四十代女性) ほか

IV 辛い症状を和らげるために 技術編

1. 看護の〈看〉とは / 2. 各種の技術〔1〕呼吸介助法と排痰補助法〔2〕リンパ浮腫のケア)

V その人らしさを取り戻すため

VI 看護が私の生きる道

1. 「ベトナム診療隊」の一員となって / 2. 東日本大震災ボランティア / 3. 私は看護師です

VII あとがき

〈寄稿文〉 前北海道大学医学部附属病院 看護師 菅野香 / G A R O株式会社代表取締役 金丸直人 ほか

◆著者略歴

水野敏子 (みずのとしこ)

1950年12月4日、宮崎県西臼杵郡高千穂町上野に生まれる。愛知県医師会名古屋高等看護学院卒。開業医の見習い看護婦時代から大学附属病院に至るまで、半世紀を看護師として働く。准看護婦学生時代に「完全両側口唇口蓋裂」児に出会い、1994年より「ベトナム診療隊派遣事業」に参加。2006年12月、ベトナム政府から「児童保護育成勲章」授与。ホスピス啓蒙活動を通じて、多くの人々と交流し、看護の探求に力を注ぐ。現在、「日本臨床心理リハビリテーション研究会世話人」「日本死の臨床研究会中部支部役員」「東海北陸ホスピス・緩和ケアナース交流会世話人」「NPO法人愛知県難病団体連合会理事」「えふてーぶるかんご塾主催」など。

犬丸宣子 (いぬまるのりこ)

1983年福岡生まれ。2012年東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業。2014年東京藝術大学美術研究科修士課程日本画修了。日本画家、イラストレーター。4匹の猫と暮らし動物や草花を中心に制作。フリーの作家として依頼やグループ展、個展などで活動中。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	水野敏子 著 看護はよろこび —緩和ケアの現場から 198頁 / 四六判 / ソフトカバー 定価 2,200円(税別) ISBN978-4-86693-661-1 C1047
ご注文は、J R Cへ FAX : 03 - 3294 - 2177(TEL : 03 - 5283 - 2230) 株式会社 JRC 経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		